



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
コード番号 9407 URL <https://rkb.jp/holdings/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理局長
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
TEL 092-852-6624

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,850	6.2	897	38.2	1,067	32.9	563	27.5
2023年3月期第3四半期	15,873	△4.0	649	△42.8	803	△37.1	441	△42.0

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 1,887百万円 (294.7%) 2023年3月期第3四半期 478百万円 (11.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	257.10	—
2023年3月期第3四半期	201.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年3月期第3四半期	50,909		38,618		73.6
2023年3月期	49,027		36,906		73.1

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 37,461百万円 2023年3月期 35,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	75.00	75.00
2024年3月期	—	—	—		
2024年3月期(予想)				75.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	3.0	1,000	△14.8	1,190	△12.1	500	△25.3	228.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,240,000 株	2023年3月期	2,240,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	47,933 株	2023年3月期	47,933 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,192,067 株	2023年3月期3Q	2,192,132 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除されたことにより経済活動の正常化が進み、個人消費の増加基調やインバウンド需要の継続など緩やかな景気回復基調となりました。しかしながら、原材料・エネルギー等の価格高騰や、ウクライナや中東情勢の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、主力事業である放送事業収入は、主力商品であるテレビスポットCMの受注が景気の不透明感の影響を受け減収となりました。一方、システム関連事業収入は、大型案件の受注により増収増益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高168億50百万円（前年同期比 6.2%増）となり、営業利益は8億97百万円（前年同期比 38.2%増）、経常利益は10億67百万円（前年同期比 32.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億63百万円（前年同期比 27.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入100億25百万円（前年同期比 1.9%減）、営業利益3億1百万円（前年同期比 8.5%減）となりました。

テレビ部門は、収入93億5百万円（前年同期比 1.5%減）となりました。主力商品であるスポット収入は、アルコール飲料や交通・レジャー等が前年同期を上回りましたが、通信、薬品や住宅等の出稿が低調で全体では5.3%減となりました。一方、タイム収入は、女子プロゴルフトーナメント「RKB×三井松島レディス」や「博多どんたく港まつり」を入場・行動制限なく開催できたこと、並びに杭州アジア大会の番組や年末特番等により4.5%増となりました。

ラジオ部門は、収入7億20百万円（前年同期比 6.2%減）となりました。制作収入は「カラフルフェス2023」をはじめとした各種イベントが開催できたことで6.6%増加しましたが、スポット収入は遊戯施設・レジャー関連等の出稿が低調で10.9%減、タイム収入も健康食品等のレスポンス広告が低調で10.2%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入51億99百万円（前年同期比 26.3%増）、営業利益3億86百万円（前年同期比 129.6%増）となりました。官公庁・自治体領域での大口の機器販売やPCなどのリプレースに伴う利益率の高いSIサービス部門の受注が好調で増収増益となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入7億66百万円（前年同期比 1.2%減）、営業利益7億77百万円（前年同期比 0.1%減）とほぼ前年並みで推移しました。

④その他事業

その他事業は、収入8億58百万円（前年同期比 12.9%増）、営業利益36百万円（前年同期は営業損失43百万円）となりました。催事部門では「ミュシャ展」、「WHO AM I-SHINGO KATORI ART JAPAN TOUR-」や福岡市と連携したイベント「The Creators 2023」等を開催しました。新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除されたことで、集客状況が回復したことなどにより増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、509億9百万円と前連結会計年度末と比べ18億82百万円増加しました。これは主に、株価の上昇により投資有価証券が19億40百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、122億91百万円と前連結会計年度末と比べ1億70百万円増加しました。これは主に、支払いにより流動負債その他に含まれる未払費用が6億1百万円減少したものの資金調達により短期借入金が増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、386億18百万円と前連結会計年度末と比べ17億12百万円増加しました。これは主に、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が12億23百万円増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が3億99百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、システム関連事業において売上高が前回予想を上回る水準で推移しており、売上増に伴う利益の増加も見込まれ、売上高、営業利益、経常利益については前回予想を上方修正いたします。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、所有不動産の再開発に伴う固定資産の減損による特別損失を見込んでおり、前回予想を据え置きます。この結果、売上高234億円、営業利益10億円、経常利益11億90百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円を見込んでおります。

(参考)

2023年11月10日発表の連結業績予想(通期)

売上高230億円、営業利益7億50百万円、経常利益9億円、親会社株主に帰属する当期純利益5億円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,258	12,386
受取手形、売掛金及び契約資産	4,533	3,470
棚卸資産	174	523
その他	2,365	2,207
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	19,327	18,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,405	5,268
機械装置及び運搬具（純額）	653	660
土地	13,645	13,645
その他（純額）	2,072	2,942
有形固定資産合計	21,776	22,516
無形固定資産		
	236	323
投資その他の資産		
投資有価証券	5,301	7,242
その他	2,391	2,247
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	7,686	9,484
固定資産合計	29,699	32,324
資産合計	49,027	50,909
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479	302
短期借入金	—	800
未払法人税等	68	218
その他	3,495	2,623
流動負債合計	4,043	3,943
固定負債		
退職給付に係る負債	4,629	4,514
その他	3,447	3,833
固定負債合計	8,077	8,347
負債合計	12,121	12,291

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	34,280	34,680
自己株式	△185	△185
株主資本合計	34,660	35,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,235	2,458
退職給付に係る調整累計額	△79	△57
その他の包括利益累計額合計	1,155	2,401
非支配株主持分	1,089	1,157
純資産合計	36,906	38,618
負債純資産合計	49,027	50,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	15,873	16,850
売上原価	10,088	10,842
売上総利益	5,785	6,007
販売費及び一般管理費	5,135	5,109
営業利益	649	897
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	130	142
その他	34	32
営業外収益合計	165	175
営業外費用		
支払利息	0	0
和解金	8	—
その他	2	5
営業外費用合計	11	6
経常利益	803	1,067
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	800	1,064
法人税等	321	422
四半期純利益	478	642
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	441	563

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	478	642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	1,223
退職給付に係る調整額	23	21
その他の包括利益合計	△0	1,245
四半期包括利益	478	1,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442	1,809
非支配株主に係る四半期包括利益	35	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した宗像陸上養殖株式会社を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社RKB映画社は、同じく当社の連結子会社であるRKBミュージズ株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅し、連結の範囲から除外しております。なお、RKBミュージズ株式会社は株式会社RKB CINCに商号変更しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
テレビ放送	9,452	—	—	—	9,452	—	9,452
ラジオ放送	767	—	—	—	767	—	767
システム関連	—	4,116	—	—	4,116	—	4,116
その他	—	—	—	760	760	—	760
顧客との契約から生じる 収益	10,219	4,116	—	760	15,097	—	15,097
その他の収益	—	—	776	—	776	—	776
外部顧客への売上高	10,219	4,116	776	760	15,873	—	15,873
セグメント間の内部売上 高又は振替高	89	72	624	1,042	1,829	△1,829	—
計	10,309	4,188	1,401	1,803	17,703	△1,829	15,873
セグメント利益又は損失(△)	329	168	778	△43	1,233	△583	649

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△583百万円には、セグメント間取引消去2百万円、当社における子会社からの収入94百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△681百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
テレビ放送	9,305	—	—	—	9,305	—	9,305
ラジオ放送	720	—	—	—	720	—	720
システム関連	—	5,199	—	—	5,199	—	5,199
その他	—	—	—	858	858	—	858
顧客との契約から生じる 収益	10,025	5,199	—	858	16,083	—	16,083
その他の収益	—	—	766	—	766	—	766
外部顧客への売上高	10,025	5,199	766	858	16,850	—	16,850
セグメント間の内部売上 高 又は振替高	85	65	664	857	1,673	△1,673	—
計	10,111	5,265	1,431	1,715	18,524	△1,673	16,850
セグメント利益	301	386	777	36	1,502	△604	897

(注) 1. セグメント利益の調整額△604百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、当社における子会社からの収入87百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△688百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	比率(%)
テレビ収入	9,514	88.0	9,367	87.6	△147	△1.5
ラジオ収入	795	7.3	744	6.9	△50	△6.4
その他の収入	508	4.7	585	5.5	76	15.0
合計	10,818	100.0	10,696	100.0	△121	△1.1